児童クラブだより
第95号
2019年6月28日

またあした

特集！

ぐんぐん育つ 一緒に伸びていく

今年度入所児童数 3,209名

（公財）藤沢市みらい創造財団が運営する55ヶ所の児童クラブの入所児童数は昨年に引き続き過去最多となりました。このうち1年生は1,006名（4月1日現在）です。1年間どうぞよろしくお願いします。

今年度も多くの子どもたちが児童クラブに入所し新たな仲間でスタートをしています。新入所の子どもたちも4月、5月と児童クラブで過ごす中で、多くの遊びを知り、友だちと親しむ姿がみられるようになりました。

児童クラブでは何気ない日常の中で、時に子どもたちの姿に大きな感動をもらえることがあります。仲間と関わりあう中で水や栄養をたくさんもらい、心の枝葉をぐんぐん伸ばし成長する。共に育ちあう子どもたちの姿をお伝えします。

忘れられないドッジボール～ある児童クラブでの一場面～

５年生のアタルくん（仮名）は、部屋の隅で漫画ばかり読んでいる子でした。自分の好きなことには積極的ですが、下級生に声をかけることや関わることは少し苦手な様子でした。

ある時、クラブの数人の子どもたちが「ドッジボールやりたい！」と声をあげました。指導員が「ドッジボール一緒にやらない？」と他の子どもたちにも誘いの声をかけました。仲間が集まってくる中、体を動かすことが好きなアタルくんも誘いに乗りドッジボールに参加することになりました。

その日から、クラブの中でドッジボールは大盛り上がり！毎日のようにドッジボールで遊ぶ日々が続きました。

仲間の楽しそうな姿に興味を惹かれ、誘われるように「ドッジボールやりたい！」という子どもたちが増えていきました。気がつくとドッジボールは１年生から５年生、男女関係なく楽しめる遊びとなっていました。

ドッジボールを通して、それまで疎遠だった上級生と下級生がつながりあい、アタルくんには「今日もドッジやろうね！」と下級生から声がかかる関係となりました。アタルくんも下級生に親しみを覚えていき、絆が深まっていきました。

その後、アタルくんはクラブを卒所しましたが、数年たった今でも、その頃に一緒に遊んでいた子どもたちは、「あの頃のドッジボール、本当に楽しかったね」と話しをしています。

一緒にぐんぐん！　3つのちから

あこがれの存在

遊びや生活の中で輝いている上級生は身近なあこがれの存在となります。遠くて手が届かないあこがれではなく、いつでも傍にいて自分を認めてくれる存在。あこがれの気持ちは、その存在に少しでも近づこうと伸びるパワーをくれます。

慕ってくれる存在

下級生たちに慕われ、あこがれられる存在であることは上級生にとって励みになります。慕われる喜びがまた高みを目指す原動力となります。何より自分が周りに影響を与えることができたという事実は大きな自信につながります。

夢中になれる遊び

上級生の投げるボールの強さに圧倒されていた下級生も、いずれ果敢にボールを受け止め、投げ返すようになっていきます。夢中になるということは、時に失敗や苦痛があってもそれを乗り越え、成長する喜びをもたらしてくれます。

児童クラブは、友だちと楽しさを共有し、夢中になり、遊ぶことができる場所です。

異年齢集団で過ごす児童クラブでは、手の届くところに、あこがれる上級生がおり、下級生にとって大きな刺激となります。上級生にとっても、あこがれられることで、自信を深め、輝くことができます。指導員は子どもたちが仲間と関わり合い成長することを支援し、児童クラブが豊かな心を育む場となるように関わっています。

楽しいことがいっぱい！夏休み♪

《午前 8:00 から開所》

児童クラブの宿泊キャンプは、上級生のリーダーを中心に、子どもたちで話し合って決めた様々な活動を行っています。キャンプでは、自然とのふれあいや仲間づくり・技術の取得など、野外でたくさんの体験をすることができます。

キャンプに参加をする前に抱いていた心配や不安は、同学年の仲間や支えてくれる上級生の存在によって次第に薄れ、キャンプを楽しみに思うようになります。キャンプに挑戦をしたことによって得られる心の成長は、その後のクラブでの日常生活における様々な場面での活力となっています。

食事作り

夏休みの食事作りは全５回実施をします。みんなで協力をして作るご飯は格別においしく、調理技術の習得につながっています。

プール・水遊び

小学校のプールをお借りしています。また、校庭や公園で水鉄砲・水風船などの水遊びをすることもあります。

夏の暑さの中でも、子どもたちが楽しむことができるよう、各児童クラブで工夫をした活動を行っています。

昼寝の時間を設け、体を休めることもしています。

宿泊キャンプ

クラブ間交流

近隣の児童クラブとけん玉交流などをしているクラブもあります。

自由学習時間もあるみたい。

みらぞう君が児童クラブにやってきた！⑤

レッツゴー！

～当番活動・そうじの巻～　～ひまわり児童クラブ（湘南台小学区）～

玄関掃除で玄関のガラス扉もキレイに拭いています。

今回、みらぞうが訪れたのは湘南台小学校区にある「ひまわり児童クラブ」。おやつの後、当番活動として「掃除」をしていたので、みらぞうも掃除の手伝いをしました。

ひまわり児童クラブでは班ごとに掃除分担（週ごとのローテーション）が決まっていて、掃除の時間が始まると、子どもたちは慣れた手順で掃除を進めていました。「ほうき」「ぞうきん」「食器洗い」「おもちゃ・本整理」「玄関掃除」など班ごとにスムーズに掃除をしていたことに、みらぞうは感心しました。

ひまわり児童クラブのクラブ長に話を聞きました。「『当番活動・掃除』を通して『物を大切にする』という気持ちを育んでいます。そして、『自分たちの児童クラブは自分たちでキレイにしています。』」と言っていました。

掃除の後、みらぞうは子どもたちと一緒に遊びました。みらぞうは遊んでいて、「物がキレイに片づけられていると、遊びやすいし、居心地が良いなぁ。また遊びに来たい♪」と思いました。

みらぞう君、次はどこのクラブに!?
お楽しみに♪

食器もキレイに洗って、最後は食器を布巾で拭いていました。

掃除の後の反省会。「本が破れていたから、気をつけよう」など、自分たちで掃除をしていて気づいたことを報告し、「物を大切にする」という意識を高めあっていました。

新施設紹介 かがやき児童クラブ 名称も新たにスタート！

藤沢小学校区の旧労働会館跡地に建設された「F プレイス」に新たに『かがやき児童クラブ』が開所しました。このことにより待機児童解消のために運営しておりました「第２さわやか児童クラブ」を閉鎖いたしました。

クラブ長は「クラブの名称通り、一人一人が『輝ける』クラブにしたい」、「近くのお店の方に下校時等の見守りをお願いしている」と地域連携も大切にしていると話していました。

子どもたちは「部屋の中が明るくなった！」「部屋が広くなった！」と新施設を喜んでいます。

藤沢市少年の森にて開催 第25回藤沢市子どもフェスティバル 児童クラブも参加しました！ 報告

５月５日（祝日）、藤沢市少年の森にて「第 25 回藤沢市子どもフェスティバル」が開催されました。当日は晴天に恵まれ多くの来場者で賑わいました。

毎年多くの青少年団体の皆さんとともに、児童クラブ指導員も参加しています。定番となっている工作コーナー（キラキラプレート、折り紙で風車）と伝承遊びコーナー（けん玉、ベイゴマ、大山ゴマ、木ゴマ）の２ブースを開設。来場者と共に楽しいひと時を過ごしました。普段は児童クラブに通ってくる子どもたちと一緒に遊ぶ指導員ですが、この日は遊びを通してたくさんの方と交流できる貴重で新鮮な気持ちを味わうことができる時間となりました。

毎年こどもの日に開催されている藤沢市子どもフェスティバル。お時間があれば是非少年の森へお越しください！

けん玉に挑戦！

キラキラプレートは自分の好きな絵を書いてお持ち帰り♪

◆（公財）藤沢市みらい創造財団イメージポスターデザイン募集しております！

応募期間＝７月 15 日（祝）～９月 15 日（日）〈消印有効〉
応募点数＝１人５点まで
※応募資格など詳細は（公財）藤沢市みらい創造財団のホームページをご覧ください。
最優秀賞作品〈1 点　賞金 10 万円〉は同財団のポスターなどに使用
【問】（公財）藤沢市みらい創造財団総務課【電話】0466（21）7861【FAX】0466（28）9567

第1回 運営委員長会議 保護者代表者会議 報告

５月 19 日（日）に藤沢青少年会館で、運営委員長会議と保護者代表者会議が開催されました。今年度の事業計画や予算についての報告の他、情報交換が行われました。

公益財団法人
藤沢市みらい創造財団

〒 251-0054
藤沢市朝日町 10-8　藤沢青少年会館内
放課後児童育成課
TEL　0466-21-6709
FAX　0466-28-0009
URL　https://www.f-mirai.jp
E-mail　jidouclub@f-mirai.jp